



## 有森代表が日本人初の IOC女性スポーツ賞受賞

6月23日、HG代表 有森裕子は国際オリンピック委員会（IOC）女性スポーツ賞を受賞いたしました。この賞は、女性のスポーツ参加などに貢献した関係者や組織に贈られるもので、五大陸で一人ずつ受賞者を選出しますが、今回アジアからは、有森代表が選ばれ、同賞の創設以来、日本人が受賞するのは初めてです。

IOC本部（スイス・ローザンヌ）で行なわれた授賞式の模様はIOCのサイトからご覧いただけます。

⇒ <http://bit.ly/96FJLr>

◇ ◇ ◇

このような素晴らしい賞を、アジアの代表として頂けたことは、私にとりまるで夢のようです。

権威あるこの賞を、まだ43歳しか生きていない私が受賞するのには早いような気さえします。

しかしこの賞は、私にというよりも私の周りで共に活動し、支え頑張ってくださった多くの人たちに与えられた賞と考えて、胸を張って今日のこの日を心から喜びたいと思います。

有森 裕子

## 『カンボジア体育の歩み』

JICAプロジェクトマネージャー 山口 拓

体育科教育振興支援事業 [RECTI-PE]  
JICA草の根パートナー型支援事業 (JPP)

世界では「学校体育の必要性」について、幾度となく繰り返し、議論されてきました。G8を始めとする産業先進諸国では90年代に知的教育偏重型の教育政策を採った結果、「体育」、「情操」、「課外活動」などの教育にかかる時間が制約されるようになり、若年肥満児、生活習慣病、不登校および中退者数などの問題が浮き彫りとなりました。1999年にドイツのベルリンで開催された世界体育サミット(Berlin World Summit)では、それらの課題と運動の関係から学校体育・スポーツの重要性が再確認され、2005年には国連によって「国際体育スポーツ年」が設置されています。その際に行われた世界統計では、世界の79%の国と地域で学校体育が行われており、アジア地域では33%の国や地域でしか学校体育が実施されていない現状も明らかにされています。

カンボジアも他の東南アジア地域と同様に日本で行われている現代体育が整備されておらず、心身ともに健康な国民生活を保障することが出来ないという危機的な現状が浮き彫りとなりました。国際体育スポーツ年の翌年、カンボジア王国教育省の学校体育スポーツ局は、国家を支える人材の「社会性」、「戦略的思考」、「体力(行動・防衛)」、「統率力・調和力」、「社会性」などを学校教育で保障するために体育科の指導要領を新訂しました。(ここからHGの支援が開始されています。)その後、

指導書を作成し、それを基準として、ブロック分けされた地域の中心州にある幾つかの小学校を、今後の普及拡点とする計画を立てた「フェーズII」を開始し、現在は、その3つのブロック(リージョン5)に移動して振興活動を行っています。

1番目のブロック(リージョン1)では何もかも初めての試みなのでHGが振興活動を主導し、手探り状態の調整を行いましたが、初めての地域であったことからナショナル・トレーナー、NT(特別なトレーニングを受けて選抜された教育省の行政官)も奮闘し、その勢いが校長や教員達に伝染。最終的には、日本の熟練教師顔負けの素晴らしい授業が公開授業で実践されるまでに至りました。

2番目のブロック(リージョン2)では、NTを中心に据えてHGが後方支援する形で取り組みました。但し、「少し、権限と調整の移譲の時期が早過ぎたこと」、「リージョン1とリージョン2の州民性や学校の特徴が違ったこと」、「リージョン1の成功イメージが強すぎて成功率が薄れてしまったこと」などから、NTが感じる充実度や達成度に多少の陰りが見えていました。

3つ目のブロック(リージョン5)では、これまでの課題と経験を生かして、NTの成長を促す支援を行いたいと考えています。

Global/Region	%
Global	79
Africa	60
Asia	33
Central/Latin America	67
Europe	89
Middle East	67
North America	33

## かすみがうらマラソン アンコールワット国際ハーフマラソン 姉妹マラソン協定締結

第20回かすみがうらマラソン大会前日の4月17日(土)土浦市にて、両大会の姉妹マラソン協定が結ばされました。かすみがうらマラソンからは大会実行委員会長である中川清土浦市長(写真右より3人目)、AWHMからは同大会主催のカンボジアオリンピック委員会(NOCC)の事務局長ワ・チョムラン氏(写真右より2人目)が、NOCC代表トン・コン氏の名代として来日し、調印式で固い握手を交わしました。



### AWHM入賞のランナーも来日

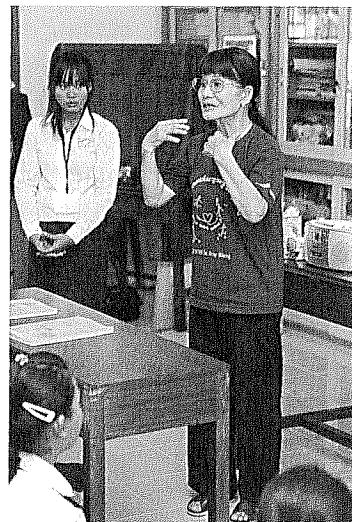
4月18日に開催された第20回かすみがうらマラソンに、ホン・サムナン選手とカン・トゥアリー選手の2名のランナーが招かれました。大会参加をはじめ、前夜祭への参加、日立建機株式会社土浦工場見学やHG会員交流会(上野)出席など、初めての日本を心から楽しんでいるようでした。特にボランティアの方々の温かい歓迎と親切な対応に感動、「一生の思い出」と言って帰国されました。皆様のご協力に、心から感謝。

### HGむつみ日本語教室

ザ・ドキュメンタリー「人生の教室～カンボジア日本人教師～」として、2月にテレビ東京系列で放映、檜尾睦先生の活動が紹介されました。

#### ◇日本語教室からの留学生

2009年度の留学生、ゲエ・チョンパーさんが帰国し、今年の留学生カン・ナムアオイさんが、岡山学芸館高校の支援を受け、同校に4月より1年間在籍します。また、留学中の支援をいただくペアレントの方々のご厚意のもと、充実した学園生活を過ごしています。



### PARACUP 2010 共催団体として参加しました！

「PARACUP(パラカップ)世界の子どもたちに贈るRUN」は、世界中の恵まれない子どもたちを支援することを目的に開催されているチャリティーマラソン大会です。

4月25日(日)、神奈川県川崎市の多摩川河川敷マラソンコースで開催されました。雲ひとつない晴天で、絶好のマラソン&ボランティア日和。HGも今年はじめて共催団体として参加し、チャリティブースを出展。HGブースでは、会員の小川さん、池尻さんを中心としたボランティアスタッフの方々とともに、有森代表多くの参加者と交流することができました。当日ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました！

### チャリティ耐寒登山



2月14日(日)、参加者19名、無事登頂。皆、楽しんでいただきました。登山歴25年登山回数2,500回目の記念すべき日として、このチャリティ登山を選んでいただいた参加者の方もいらっしゃいました。感謝感激！下山してからいただいた恒例の豚汁は、最高でした。

この登山は、西日本支部の武藤リーダー企画によるものです。日頃行っている活動に、HGへのチャリティを組み込むスタイルの支援、できる事から始める支援が、ゆっくりと広がっています。

#### ほべつ ARIMORI CUP マラソン大会(5/10)で、募金をいただきました！ありがとうございました



### ・・・ HG10周年誌 完成！・・・ 「共に育つ－ハート・オブ・ゴールド 10年のあゆみ－」



2月12日(金)、大阪成蹊大学芸術学部・長岡京キャンパス内にて、10周年誌発行記念講演会と交流会を開催しました。有森代表による基調講演「共に育つ－スポーツを通じた国際協力の可能性」に続いて、志澤リーダーと武藤リーダー、HGJYAメンバーによる活動の紹介がありました。

会員の方をはじめ、同大の先生や学生の方々、近隣にお住まいの方にもいらしていただきました。

同大芸術学部の澤田克之先生と学生の方には、同誌のデザインや編集など完成まで多大なご協力をいただき、また、発行記念の会を同大で開催していただきましたなど、何から何までご尽力いただきました。本当にありがとうございました。



### 第4回吹田中の島チャリティ・ラン

有森裕子 HG代表を毎回ゲスト&主催者として迎え、ボランティアを育てる機会になることを願ってチャリティ大会として今年で4回目を迎えます。

それまで20回続いた「5時間走」を「3時間走」に変更し、「ゲームリレー」を新たに加えた2種目大会として3年前に再スタートしました。子どもも参加できる「ゲームリレー」は、親子で駆けを楽しめると共に、走る途中でオモチャを使ったゲームを規定回数やり終えてから次の周回orお父さんやお母さんへタスキを繋ぐ親子仲良くスポーツが楽しめる遊びの種目です。

また、走力に自信がないとマラソン大会に尻込みしていた成人にも2.5Km毎にゲームをすることで、走りとは違った要素と少しの休息があり、走ることの新たな楽しみを見つける機会になればと思っております。多くの方のご参加をお待ちしています。

吹田中の島ランナーズ 伊藤 健一

### 活動報告 (2010年前半)

- 1/24 「上郷地区地域づくりフォーラム」飯田クラブ 有森代表
- 2/7 国際シンポジウム「日本のため、世界のために若者は何が出来るか」チョンパー
- 2/12 HG10周年誌発行記念活動報告会・交流会(京都・長岡京)
- 3/3 国際理解教育 / 平福小学校(岡山)
- 3/7 第30回篠山ABCマラソン大会(兵庫・篠山)
- 3/9 国際理解教育 / 三門小学校(岡山)
- 4/17 かすみがうらマラソン & AWHM姉妹マラソン締結(土浦)
- 4/18 第20回かすみがうらマラソン(土浦)
- 4/18 HG東日本支部交流会(上野)
- 4/25 PARACUP 2010 参加(川崎)
- 5/10 10 ARIMORI CUP マラソン大会(穂別)
- 5/21 講演会「今、私たちにできること」有森代表(松戸)
- 6/12-19 JICA事業・専門家ミッション(シェムリアップ)
- 6/13 第18回みかた残酷マラソン全国大会(兵庫・香美町)
- 6/28 HG理事会・総会・交流会(岡山)
- 6/23 IOC女性スポーツ賞受賞、有森代表(スイス)
- 6/25-7/1 保健科教育指導ミッション(プノンペン)

### 活動予定 (2010年後半)

- 7/18 天神祭奉納 2010日本国際ドラゴンボート選手権(大阪)
- 8/7-14 保健科教育指導ミッション(スバイリエン)
- 9/19 第4回吹田中の島チャリティ・ラン(大阪)
- 9/21 土浦ライオンズクラブ、有森代表
- 10/3 雄勝健康マラソン(秋田)有森代表
- 11/28 第35回河口湖日刊スポーツマラソン(山梨)有森代表
- 12/2-7 AWHMスタディツア(カンボジア)
- 12/4 アンコールウォーキング、AWHM前夜祭(シェムリアップ)
- 12/5 第15回アンコールワット国際ハーフマラソン(シェムリアップ)

← ナムアオイさん